



農研機構 なほけんきこう サイエンスカフェ



NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE

第43回 2025年11月15日(土)

10:00~11:30 (受付開始時間 9:30)

つくば市役所コミュニティ棟 会議室1
茨城県つくば市研究学園1-1-1



会場マップ



申込はこちら

主催：農研機構
共催：つくば市

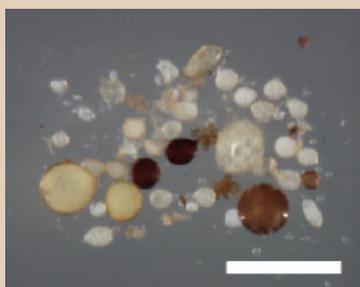
10月6日より
申込開始
(11月12日×切)
事前申込制
定員60名

植物だって一人じゃない - 植物の養分吸収を助けるカビの話 -

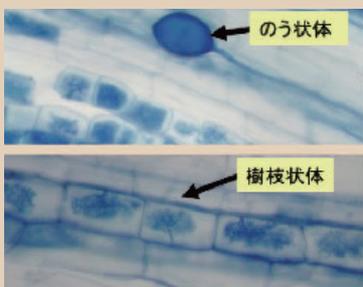
講師 大友 量

(農研機構 農業環境研究部門 土壤環境管理研究領域 土壤資源・管理グループ 上級研究員)

陸上に植物が進出した遙か太古の昔からずっと、植物たちに寄り添ってその生育を助けてきた土壤微生物・菌根菌の紹介をします。彼らの生き物としての特徴やその多様な働き・農業での活用方法などの話を通して自然界の生物の「共生」について、皆さんと一緒に考えられたらと思います。畑の土から分離した菌根菌の胞子を顕微鏡で観察するコーナーも設置します。



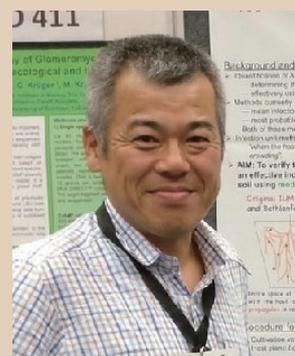
土壌からはさまざまな色・形・大きさのAM菌の胞子を取り出すことができます。
写真右下の白い棒の長さは0.5mmです



ダイズの根に感染したAM菌を色素で青く染めてから顕微鏡で観察しました。四角い根の細胞の間や内部にAM菌の菌糸が入り込んでいる様子が見えます。



養分の少ない土壌で植物(写真はパヒアグラスというイネ科の牧草とマメ科の白クローバー)を栽培する場合は、AM菌を接種することで植物の生育が大きく促進されます。



畜産草地研究所(那須)・北海道農業研究センター・中央農業研究センターにて、大腸菌の土壌中での生残性やアーバスキュラー菌根菌(AM菌)の生化学・農業利用に関する研究に従事。2015年よりAM菌遺伝資源の管理を担当。2020年4月より現職。現在はAM菌以外の土壌微生物の農業生態系での動態解析にも挑戦。趣味は尺八演奏・ジョギング・書道。東京大学委嘱教授、法政大学兼任講師。博士(農学)



サイエンスカフェとは？

研究者と市民の皆さんが、身近な場所で、科学の楽しさについて気軽に語り合う場を作る試みです。農研機構の研究者が、農業研究の最先端から身近な話題までわかりやすくお話しします。気軽にご参加いただき、日頃の疑問を専門家に聞いてみて下さい。



農研機構

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

お問い合わせ先

農研機構中日本農業研究センター広報チーム
☎029-838-8421 ✉ koho-carc@ml.affrc.go.jp

つくば市政策イノベーション部科学技術戦略課
☎029-883-1111 ✉ sts01@city.tsukuba.lg.jp